

第④回精神科訪問看護 ステーション情報交換会

主催：全国訪問看護事業協会 共催：日本精神科看護協会

開催日：平成 29 年 7 月 1 日（土）10：00～16：40

会場：CIVI 研修センター秋葉原 参加費：7,000 円 定員：200 人

対象者：参加は主催団体の会員・非会員を問わず①～③に該当する方

- ①精神障がい者のみを対象としている訪問看護ステーション（管理者・従事者）
- ②精神障がい者を中心としている訪問看護ステーション（管理者・従事者）
- ③精神障がい者を対象とした訪問看護ステーションを開設予定の方、等

今年度もまた好評に応え「訪問看護ステーション情報交換会」の開催を決定しました！

地域で生活する精神疾患のある療養者の高齢化が近年懸念されています。高齢者への施策として、地域包括ケアシステムの構築が急がれていますが、これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会報告書で「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築をめざす方向性が示されました。そこで、今回は、地域の中で精神障害をもつ療養者を訪問看護でどのように支えていくか参加者の皆さまと考えてみたいと思います。ぜひ、ご参加いただきますようご案内いたします。

開会 挨拶：全国訪問看護事業協会 上野副会長 10:00～10:05

1部 地域づくりに寄与するステーションの姿 10:05～12:00:座長 荻原喜茂氏(日本作業療法士協会副会長)

講演	10:05～10:50	精神科訪問看護もできるステーションへ：地域になくてはならない存在として
実践報告	10:50～11:10	地域を意識したステーション運営(都市型)
実践報告	11:10～11:30	地域を意識したステーション運営(地方型)
パネルディスカッション	11:30～12:00	地域づくりに寄与する精神科訪問看護とはどのような姿か

2部 精神障がいのある利用者を地域で支える 13:10～15:00:座長 寺田悦子氏(株式会社円グループ代表取締役)

事例報告	13:10～13:30	高齢や医療的ニーズのある精神疾患の利用者への訪問
事例報告	13:30～13:50	精神障がいの母親から児童虐待のあるケースへの訪問
事例報告	13:50～14:10	サポートセンターとの連携
シンポジウム	14:10～15:00	精神障がいのある利用者を地域でどう支えていくか

3部 地域で役立つステーション 15:15～16:30:座長 仲野栄氏(日本精神科看護協会業務執行理事)

GW	15:15～16:00	「地域で役立つステーションになるためには
発表・まとめ	16:00～16:30	～あなたのステーションはあなたの地域で役立っていますか～」

閉会 挨拶：全国訪問看護事業協会 高砂常務理事 16:30～16:40

「精神科訪問看護ステーション情報交換会」参加申込書 送付先 F A X 03-3351-5938

参加者名	ふりがな		
所有資格	看護師・准看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・介護支援専門員・精神保健福祉士・その他（ ）		
所属	設立主体： ステーション・施設等：		
所在地	〒		
TEL		FAX	

- 注意事項
- ・申込後に申込確認の F A X が 1 週間経っても届かない場合はお電話ください。
 - ・キャンセルは 1 週間前までに連絡がない場合は費用をいただきます。※当日キャンセルは全額。
 - ・プログラム等は変更となる場合があります。プログラム、地図、振込用紙等は当協会より郵送いたします。